

三学会合同会長企画 『AI時代の専門医の在り方:匠の暗黙知を越境共創で切り拓く医療の未来』

三学会合同会長企画 (13:40-15:40)

第1会場 イベントホールA

共同座長:横井 宏佳 (福岡山王病院 病院長、循環器センター長)
山本 晋也 (大阪大学大学院 医学系研究科 国際未来医療学講座 招聘教授 他)

パネリスト:前村 浩二 (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 循環器内科学 教授)
福本 義弘 (久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門 教授)
辻田 賢一 (熊本大学大学院 生命科学研究部 循環器内科学 教授)
勝田 洋輔 (かつだ内科・循環器内科クリニック 院長)
末松 延裕 (済生会福岡総合病院 循環器内科 主任部長)

「マルチモーダルAIのグローバル最新動向 ～テックジャイアントの視点から循環器医療への応用～」
演者:Michael Zhang Qiang(MBA AI GTM Specialist, Google APAC)

「医療AIエージェントのグローバル最新動向
～スタートアップの視点から心血管インターベンションへの活用～」
演者:Xing Li, MSc(Founder & CEO, Deep Intelligent Pharma (SG) Private Limited)

「循環器領域におけるAI活用の臨床事例 ～診断支援と予後予測の現場実装～」
演者:楠瀬 賢也(琉球大学 循環器内科 教授)

「整形外科領域におけるAI活用の臨床事例 ～越境共創の観点から循環器連携の可能性～」
演者:森口 悠(株式会社ayumo 取締役CTO
大阪大学大学院 医学系研究科 国際未来医療学講座 特任講師
大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 国際医療センター 特任講師)

「匠の暗黙知を越境共創で切り拓く医療の未来 ～産学官連携によるAIイノベーションの提言～」
演者:山本 晋也(大阪大学大学院 医学系研究科 国際未来医療学講座 招聘教授/大阪大学医学部附属病院
未来医療開発部 国際医療センター・臨床研究センター 招聘教授 / 神戸大学大学院 科学技
術イノベーション研究科 先端医療・製薬学分野 バイオリジクス探索研究室 客員教授 /
東北大学 スマート・エイジング学際重点研究センター社会起業推進分野 特任教授)

パネルディスカッション

「AI時代の実践的提言 ～日本の現場主義が創るグローバルスタンダード～」

概要

医療現場の暗黙知を人工知能(AI)により形式知化し、診断支援や予後予測の実現、デジタルバイオマーカーの創出、そして業務自動化が可能となるAI 時代を迎えている。本シンポジウムでは、日本の現場主義がAIを活用して医療の未来をどのように切り拓くかを、世界最先端の事例を交えて議論する。

日本の医療現場は、多様なステークホルダーによるきめ細やかな専門知に支えられている。この暗黙知をAIで形式知化することで、新たな価値が生まれつつある。例えば、AI による診断支援や予後予測は、臨床経験をデータ駆動型知見に変換し、個別化医療の基盤を構築する。これにより、医師の経験知を補完し、診断精度の向上と医療アクセスの均等化を実現する。さらに、産学官連携によるデータ共有基盤は、形式知の蓄積を加速し、持続可能なイノベーション・エコシステムを形成する。これらの形式知は、日本発の新たな輸出産業として、グローバル・ヘルスケア市場での競争力を高める可能性を秘めている。喩えとして、トヨタのカンバン方式をAI で再構築するような、日本独自の精緻なプロセス革新である。

AI 時代において、日本の現場主義は真価を発揮する。今後、AI 活用の形式知が医療イノベーションのグローバル・スタンダードを創出するのか？ 専門医の在り方は、匠の暗黙知を越境させ、共創を通じて新たな価値を生み出すプロセスである。本シンポジウムでは、循環器・心血管領域を中心に、テックジャイアント、スタートアップ、臨床現場の視点から具体例を共有し、産学官連携の提言を行い、医療イノベーションの新たなパラダイムを提示する。